

山田 実(編集)

浅井 剛, 土井剛彦(編集協力)

メディカルスタッフのためのひと目で選ぶ統計手法

「目的」と「データの種類」で簡単検索！ 適した手法が76の事例から見つかる、結果がまとめられる

評者 対馬栄輝

弘前大学大学院保健学研究科

統計解析は難しいと言ってもエビデンスに基づく医療がもてはやされている現在、無縁で過ごすわけにはいかない。疫学研究デザインと統計解析といった2つの基礎知識は必須となるからである。しかし、統計教育を満足に受けられなかった大半の人にとって、簡単に習得するというわけにはいかないのも事実である。

私が若かったころ、統計解析の必要性は一切感じなかったが、それも間もなく覆されることとなった。研究を行う機会が増えたことはもちろん、論文を読んでも理解できないからであった。どうやって勉強したらよいかと悩んでいたとき、理屈はさておき実践から入ってみるという方法が得策であった。その過程はノートに記録し、手引きとして活用していた。

本書を拝見したとき、そのノウハウに非常に似ていることに感激した。まさに私が作成したノートに似ていたのである。もちろん、もっとよい情報が盛り込まれているが、懐かしい思いもあった。はじめに、統計手法を選ぶための表が掲載しており、これをみると手法がひと目で選択できる。しかし、統計手法を単に解説した書籍ならば目新しくもない。本書の特徴は、はじめにデータありきという形式で、具体例をもとに、これを知りたいときはこういった手順で解析を進めたらよいかを説明している点である。私はこうした手順を「統計解析」ではなく「臨床データ解析」とよんでいるが、まさに臨床データ解析の解説となっているのである。各項目が見開き2ページで完結するシンプルな内容となっており、各項目で別個のデータ例を挙げて解析の手順だけではなく分析のポイントや解析結果の記載例、苦労した点や検討したかったが断念した点などが盛り込まれている。臨床データ解析のノウハウ本である。

これから統計解析を始めるという人だけではな

く、ある程度は理解しているという人も一読の価値はあると思う。そして、何よりも研究論文を適切に解説したいという人にとってはかなり有効な情報が盛り込まれていると考える。いまこそ苦手意識を克服するチャンスと意を決し、一読することをお勧めしたい。



AB判・173頁・2色刷
定価：本体3,200円＋税
羊土社刊、2018年